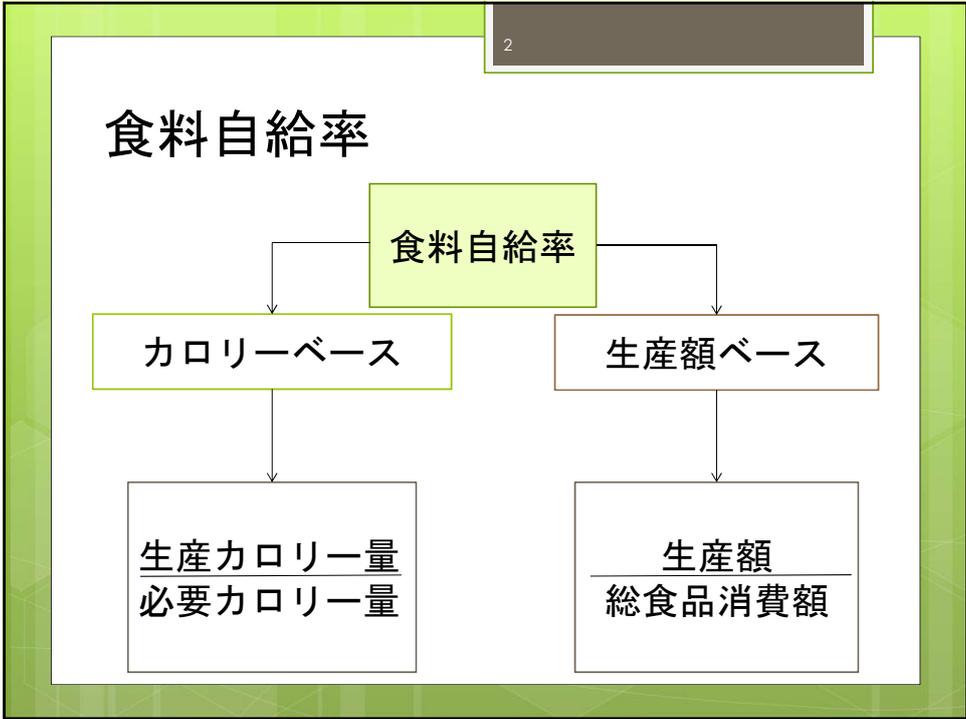
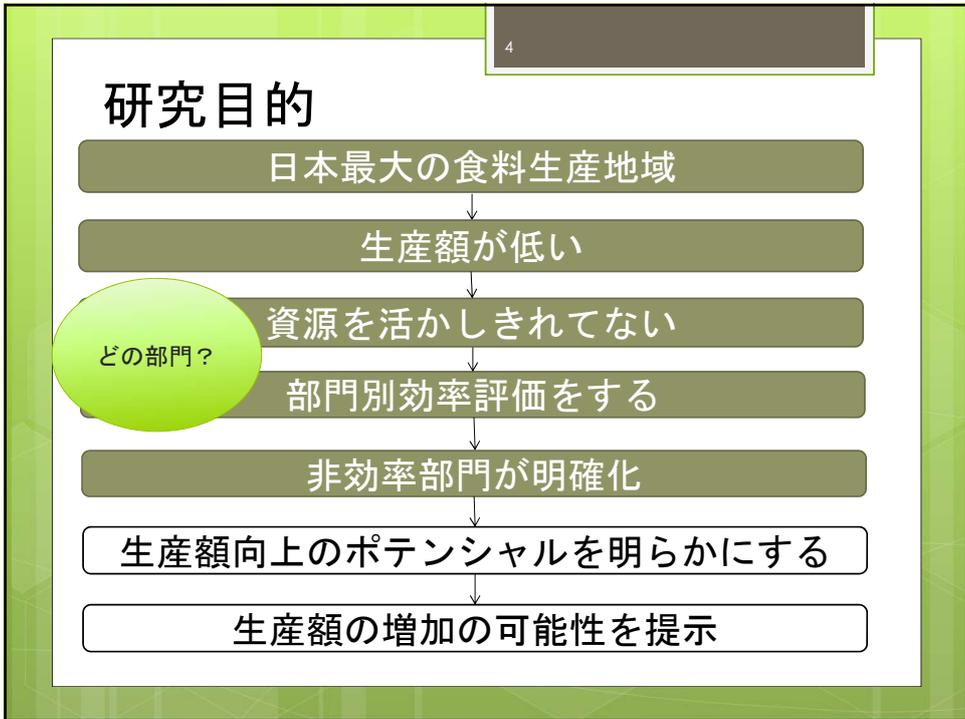
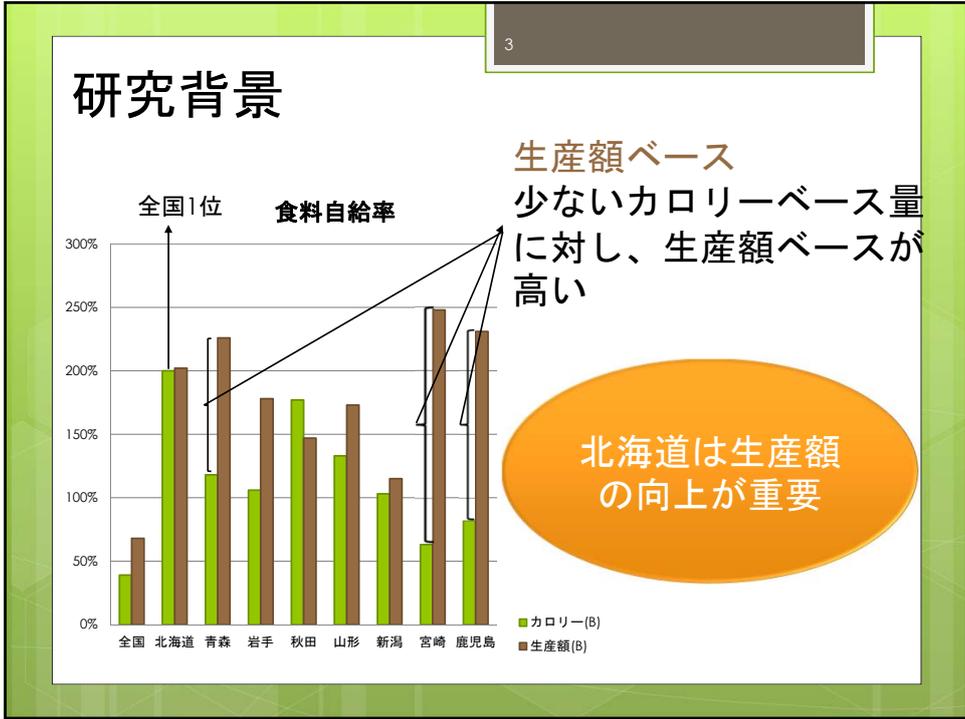


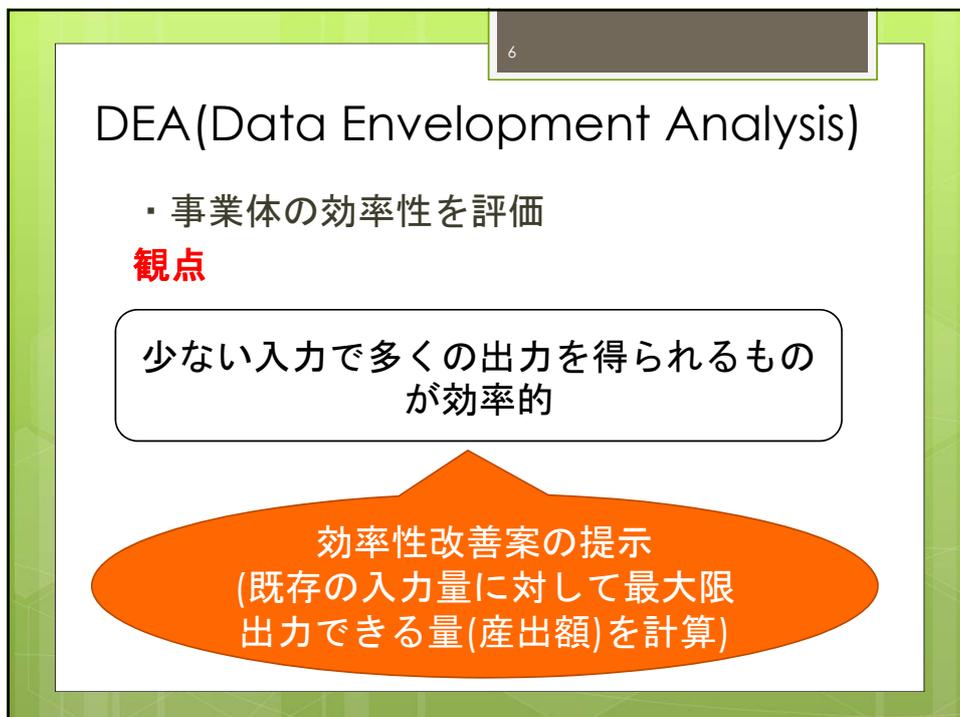
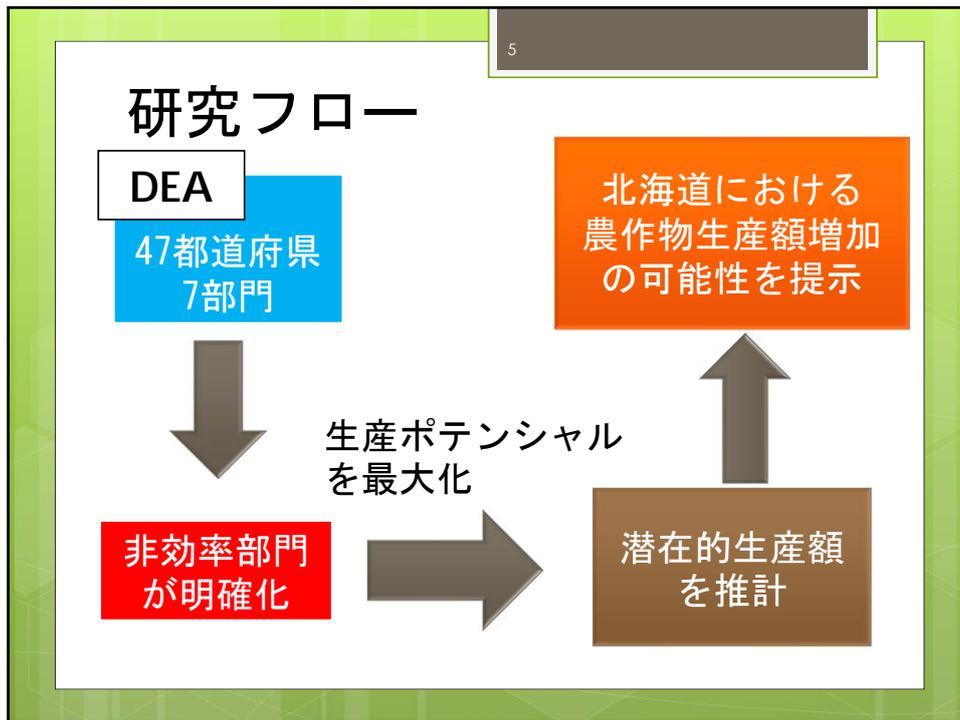
1

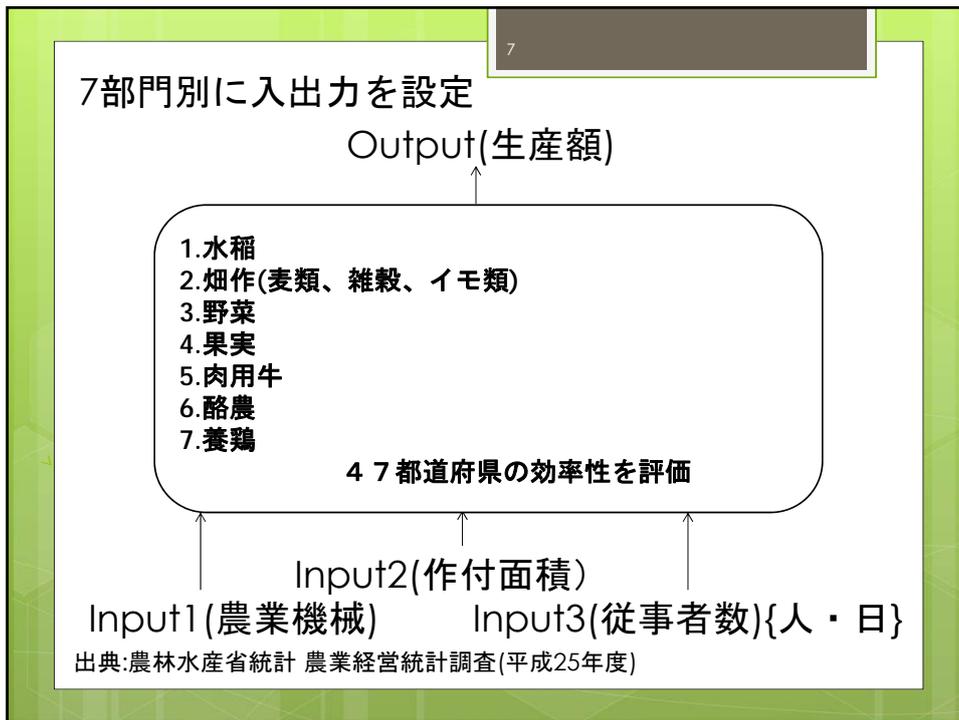
DEAによる部門別農業生産効率性の評価

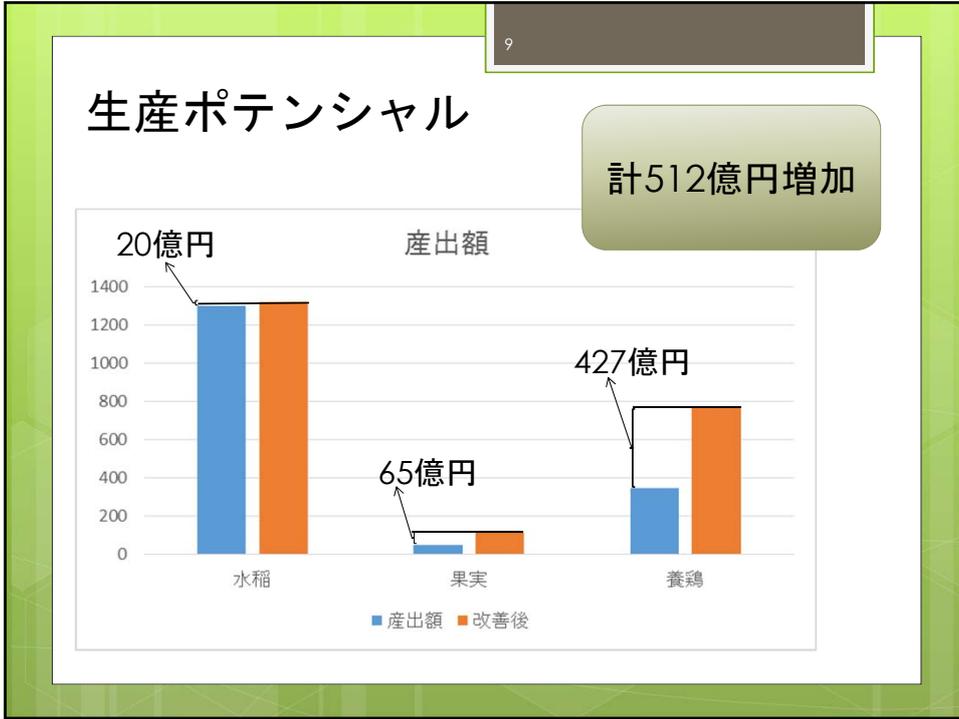
4712211 w2 北村 泰彦











10

考察①果実

参照集合

果実

- 山形県
- 石川県

北海道

山形県の特徴

- ・ 盆地が多い
- ・ 盆地の気候→内陸性気候
- ・ 他地域は海洋性気候
- ・ 季節風が吹く
- ・ 寒暖差が大きい
- ・ 多雪地帯

山形県と似た農業ができるのでは...

上川盆地→気候は内陸性、多雪地帯で寒暖差が大きい

11 上川盆地の現状と課題



深川市

上川北部→稲作・畑作・酪農
上川中部→稲作・畑作・果樹
 上川南部→畑作等

高齢化

担い手不足

果実の生産が盛ん(さくらんぼ、林檎、ぶどう)
 果樹園数道内有数
 観光果樹園が多い

果樹産地を支える、農業者の育成・確保
 観光果樹園を活用した新規就農者の確保
 新規就農者への助成

12 考察②養鶏

養鶏

- ・宮崎県
- ・鹿児島県

ブロイラー飼育数
 ・北海道→4,444,000羽

宮崎
18,388,000羽

鹿児島
19,214,000羽

ブランド力が強い

北海道

養戸数や担い手が多い

1件当たりの飼育数の増加

有名な地鶏がない

北海道産ブランドの強化やPR

13

結論

北海道農業の非効率部門 → 養鶏
水稲 果実

生産額9,506億円

生産ポテンシャルを最大化

1兆18億円



生産額512億円増加

建設費とほぼ同額